

平成27年三条市議会第4回定例会請願文書表

受理番号	第 12 号	受理年月日	平成27年9月8日
件 名	私学助成の増額・拡充を求める請願		
紹介議員	久住久俊君 名古屋 豊君 山田富義君 坂井良永君 高坂登志郎君 野崎正志君		
請 願 文			
<p>【請 願 理 由】</p> <p>私立高校は建学の精神に立脚し、独自の伝統と特色ある教育を展開しながら県内高校教育の重要な一翼を担ってきました。現在、県内高校生の5人に1人は私立高校に通っています。</p> <p>さて、平成22年度から実施された私立高校生への国の就学支援金制度及び本県独自の学費軽減制度により、私立高校生の学費負担は一定程度軽減されました。</p> <p>しかし、県内私立高校の入学金を含む初年度納入金は約57万円となっており、国の就学支援金の加算支給対象となっている年収590万円程度未満世帯において約18万円から40万円の学費負担が残されています。しかも、平成26年度からの就学支援金制度の見直しにより年収910万円程度以上の世帯は支給が打ち切られ、学費の全額を負担しなければならなくなりました。</p> <p>また、全教員に占める専任教員の割合は、公立高校では約8割を占めるのに対し、私立高校では約6割と2割も少ないのが現状です。そのため、専任教員1人当たりが担当する生徒数は、公立高校が14人に対し私立高校は19人であり、過密な勤務状況にあります。</p> <p>以上のように、私立高校は、学費と教育条件において公立高校との格差が生じています。こうした状況を是正するためには、国及び県が責任を持って私学助成の増額・拡充を図る必要があります。</p> <p>以上の立場から、次の事項について請願いたします。</p> <p>【請 願 事 項】</p> <p>1 地方自治法第99条の規定により本請願を採択し、関係機関に意見書を提出してください。</p>			

付託委員会

総務文教常任委員会